

パトリステイカ

— 教父研究 —

第 10 号

2006年

目次

巻頭言	加藤 信明	2		
アウグスティヌス『告白』				
第八巻における回心譚の効用について				
——「おこない」の意味——	松崎 一平	6		
〈コスモス・ノエートス〉をめぐって				
——アレクサンドリアのフィロンの場合——				
田子多津子		29		
静寂主義者グレゴリオス・シナイテスにおける				
祈りの随伴現象——視覚体験、カルディア				
(心(臓))の熱、喜悦——	久松 英二	45		
“Beata uita” 概念と倫理的思考の基盤				
——『告白』第十巻——	岡部由紀子	66		
「造られたものを通して」知るとはいかなることか				
——アウグスティヌス『告白』第十巻六章——				
佐藤真基子		81		
教父研究会活動報告				
教父研究会役員				
編集後記				
『パトリステイカ』既刊号目次				
(1)	94	93	93	81